

本事業の自走化計画

① 自走化の実現に向けた取組内容【2ページ以内】

芝浦工業大学では、スーパーグローバル大学創成支援（SGU）事業採択当初から、事業補助金で賄いきれない大学のグローバル化に関する経費につき、理事会による「大学のグローバル化推進のために必要な案件については優先的に資源配分を行なう」という機関決定の下、大学の自己資金およびその他の外部資金を活用して、大学のグローバル化を推進してきた。その額は、既に SGU 事業補助金（2018 年度：51.1 百万円）を大きく上回っており、自走化に向けた体制・財務構造が出来上がっているといえる。実施体制についても、2015 年 10 月に設置した SGU 推進本部会議を中心とするグローバル化推進体制が十分機能しており、現時点で新たな体制の改変やプロジェクトチームなどを立ち上げる必要はないと考える。

今後も創立 100 周年を迎える 2027 年に向けて、学校法人を挙げてグローバル化を推進するという方針は確認されており、現在行っている以下の取り組みを更に拡充していく。尚、以下の取り組みについては、大学全般のグローバル化の推進という観点から列挙しており、一部 SGU 事業補助金での支弁対象となっていない案件・内容も含む。

1. 学内予算への内在化（自主財源の確保）

大学のグローバル化は、学校法人の重点案件として予算を重点的に配分している。2018 年度においては、海外プログラムを実施するための教職員の海外旅費、外国籍教員の採用、本学学生・交換留学生への海外留学奨学金などを中心に強化を図り、その金額は合計 428.6 百万円であった。

2. 寄付金等の活用

本学では大学関係者を中心に、広く一般から寄付金を募っている。中でも在校生の保護者（芝浦工業大学後援会）からの寄付金の一部を、大学の重点施策推進のために活用している。2018 年度は、海外に留学する学生への奨学金として 12 百万円、大学院生への海外学会参加等の支援金として 9 百万円、TOEIC 試験費用補助として 14.5 百万円、合計 35.5 百万円を大学のグローバル化推進のために活用した。

3. 競争的資金等の外部財源の獲得

本学では、従前より外部資金の獲得には積極的に取り組んでいる。以下代表的なグローバル化推進のための取り組みにおける 2018 年度の外部資金の獲得金額は、284.2 百万円であった。

- ・マレーシア日本高等教育プログラム（マレーシア政府プロジェクト）

- ・サウジアラビア留学生受入プログラム（サウジアラビア政府プロジェクト）
- ・Erasmus+（EUプロジェクト）
- ・イノベーティブアジア（JICAプロジェクト）
- ・ABE イニシアティブ（JICEプロジェクト）
- ・さくらサイエンスプログラム（JSTプログラム）
- ・海外留学支援制度（日本学生支援機構奨学金）
- ・トビタテ！留学 JAPAN（日本学生支援機構奨学金）

4. 企業から資金の獲得

本学が主催する産学官連携グローバルPBLプログラムにつき、企業から開催のための費用の一部を提供いただいている。今後、拡充に努めていく。

2018年度実績：0.8百万円

5. 有料留学生受入プログラムの拡充

サマースクールなどの短期の留学生受入プログラムを有料で実施し、また Semester単位の留学プログラム（授業履修・研究室配属）については、協定校以外からは授業料等を徴収している。

- ・短期留学生受入プログラム（サマースクール等）

2018年度：21件実施、14百万円

- ・Semester単位授業履修プログラム・研究室配属プログラム

受け入れ審査料、受け入れ手数料、授業料を徴収。協定校の学生は、全学免除としている。

2018年度実績：2.9百万円

以上、2018年度においては、大学のグローバル化推進のための財源として、SGU 事業補助金含め約 817.1 百万円（SGU 事業補助金が占める割合：約 6.3%）を確保した。

② 取組内容の年度別実施計画【2ページ以内】
<p>【2019 年度】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 自主財源で、490 百万円の確保に努める。・ 主に海外に留学する学生の奨学金および学生の英語力測定費用として、芝浦工業大学後援会等に協力を求め寄付金 37 百万円の確保に努める。・ 競争的資金等の外部財源の獲得において、Erasmus+プログラムなど既に獲得実績のあるものの強化を図るなどして、300 百万円の確保を目標とする。その他、世界展開力事業（文部科学省）等新規の外部資金の採択に努める。・ GTI コンソーシアムで実施するグローバル PBL において、企業からのプログラム支援費として 1 百万円の確保に努める。・ サマープログラムなど、有料のプログラムを拡充し、18 百万円の確保に努める。・ 以上、合計で 846 百万円の SGU 補助金以外のグローバル化推進費用の獲得に努める。
<p>【2020 年度】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 自主財源で、559 百万円の確保に努める。・ 主に海外に留学する学生の奨学金および学生の英語力測定費用として、芝浦工業大学後援会等に協力を求め寄付金 39 百万円の確保に努める。・ 競争的資金等の外部財源の獲得において、Erasmus+プログラムなど既に獲得実績のあるものの強化を図るなどして、315 百万円の確保を目標とする。その他、世界展開力事業（文部科学省）等新規の外部資金の採択に努める。・ GTI コンソーシアムで実施するグローバル PBL において、企業からのプログラム支援費として 1.5 百万円の確保に努める。・ サマープログラムなど、有料のプログラムを拡充し、20 百万円の確保に努める。・ 以上、合計で 934.5 百万円の SGU 補助金以外のグローバル化推進費用の獲得に努める。
<p>【2021 年度】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 自主財源で、628 百万円の確保に努める。・ 主に海外に留学する学生の奨学金および学生の英語力測定費用として、芝浦工業大学後援会等に協力を求め寄付金 41 百万円の確保に努める。・ 競争的資金等の外部財源の獲得において、Erasmus+プログラムなど既に獲得実績のあるものの強化を図るなどして、330 百万円の確保を目標とする。その他、世界展開力事業（文部科学省）等新規の外部資金の採択に努める。・ GTI コンソーシアムで実施するグローバル PBL において、企業からのプログラム支援費として 2 百万円の確保に努める。

<ul style="list-style-type: none">・サマープログラムなど、有料のプログラムを拡充し、22百万円の確保に努める。・以上、合計で1,023百万円のSGU補助金以外のグローバル化推進費用の獲得に努める。
<p>【2022年度】</p> <ul style="list-style-type: none">・自主財源で、698百万円の確保に努める。・主に海外に留学する学生の奨学金および学生の英語力測定費用として、芝浦工業大学後援会等に協力を求め寄付金43百万円の確保に努める。・競争的資金等の外部財源の獲得において、Erasmus+プログラムなど既に獲得実績のあるものの強化を図るなどして、347百万円の確保を目標とする。その他、世界展開力事業（文部科学省）等新規の外部資金の採択に努める。・GTIコンソーシアムで実施するグローバルPBLにおいて、企業からのプログラム支援費として2.5百万円の確保に努める。・サマープログラムなど、有料のプログラムを拡充し、24百万円の確保に努める。・以上、合計で1,114.5百万円のSGU補助金以外のグローバル化推進費用の獲得に努める。
<p>【2023年度】</p> <ul style="list-style-type: none">・自主財源で、764百万円の確保に努める。・主に海外に留学する学生の奨学金および学生の英語力測定費用として、芝浦工業大学後援会等に協力を求め寄付金45百万円の確保に努める。・競争的資金等の外部財源の獲得において、Erasmus+プログラムなど既に獲得実績のあるものの強化を図るなどして、365百万円の確保を目標とする。その他、世界展開力事業（文部科学省）等新規の外部資金の採択に努める。・GTIコンソーシアムで実施するグローバルPBLにおいて、企業からのプログラム支援費として3百万円の確保に努める。・サマープログラムなど、有料のプログラムを拡充し、26百万円の確保に努める。・以上、合計で1,203百万円のSGU補助金以外のグローバル化推進費用の獲得に努める。
<p>【2024年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none">・2024年度以降も2023年度までの取り組みを踏襲し、毎年5～10%の比率でグローバル化推進のための費用が増額となるよう努めていく。